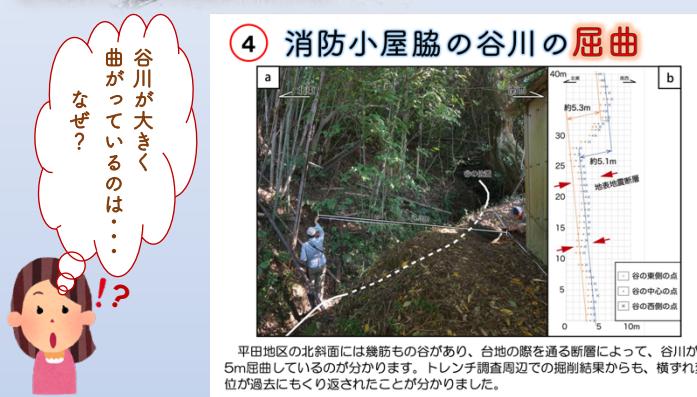
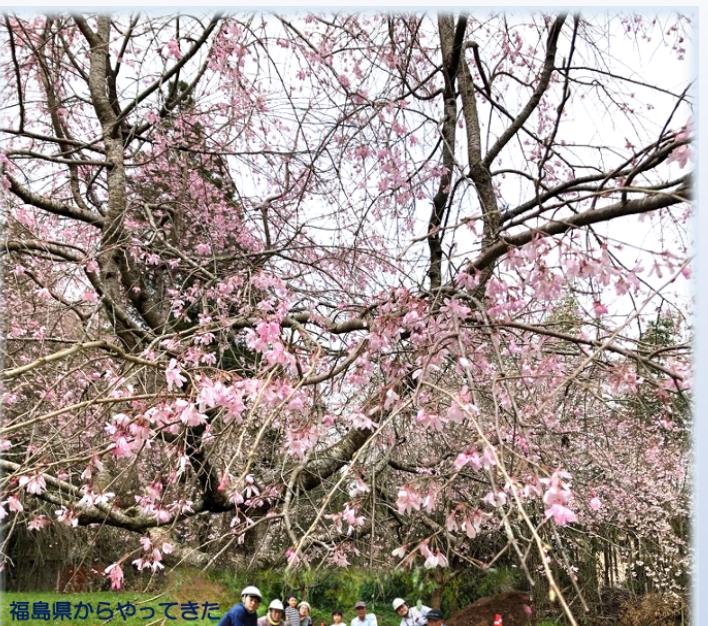


平田中消防団は災害救助のため出動しました。本震で消防小屋は、地表地震断層により床面が右横ずれと亀裂で壊滅的な被害を受けました。消防小屋は、倒壊を免れ、当時のまま保存しています。





福島県からやってきた 『瀧桜』



自然治癒で再生する
被災サクラのたくま
しさが地域住民を力
づけています。

東日本大震災の1年前、福島県三春町より頂いたサクラが断層の真上で育ち、6年後熊本地震により被災するという運命を辿り、私たちに自然の連しさを教えてくれています。



熊本地震の学術調査の記録を 防災・減災に活用しています。

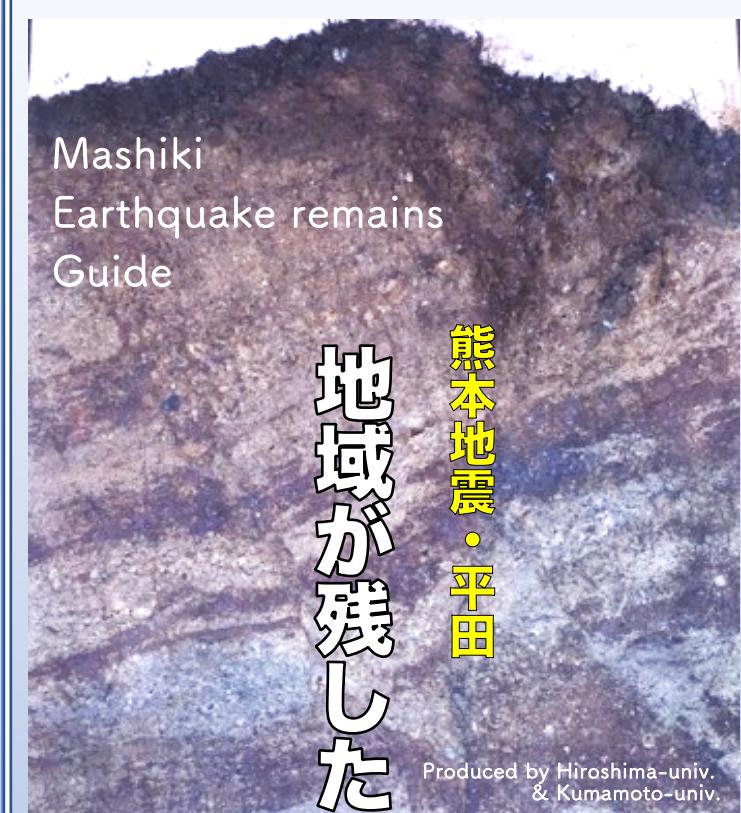
○平田地区は、広島大学の調査、熊本大学の協力により、トレンチはぎ取り標本(断層の地下標本)を地域で所有することが出来ました。トレントからでは、数万年に及ぶ、地震履歴の痕跡を観ることができます。震災構造は、地震のメカニズムを知るとともに、防災・減災にもつながる貴重な資料です。実感しながら学んでいただきたいと思います。

○平田中公民館を中心として半径100メートル以内に8カ所にわたる手つかずの震災遺構が存在しています。

震災遺構は、①トレンチのはぎ取り、②断層によって引き裂かれた福島の瀧桜、③消防小屋、④谷川の屈曲、⑤壊れなかつた公民館、⑥折れ曲がつた栗畑のフェンス、⑦地震による地滑り地帯、⑧断層変位が見える露頭を残すことが出来ています。それぞれの遺構は、地震のエネルギー、大地の動き、地震の揺れ方、大地震の履歴、地震災害など幅広く学ぶことが出来ます。それぞれの場所にストーリーがあり、地震や防災を実感することが出来る貴重な資料が残っています。



- ◆『学びのプログラム』※詳細は打合せ可能
 - ・学校、行政、研究機関、市民等、最大30～40名
 - ・震災遺構回廊・語り部コース（1時間）
 - ・砂防ダム・震災遺構回廊コース（2時間）
 - ◆ガイド・遺構管理料
 - ・500円～1,000円／人（資料代等）
 - ◆駐車場
 - ・大型バス2台 マイクロバス4台
 - ・普通乗用車20台



熊本地震・平田

地域が残した地震の記録

Produced by Hiroshima-univ.
& Kumamoto-univ.



熊本地震平田震災遺構保存会